

## 第 68 回日本医学会定例評議員会

第 68 回評議員会が平成 13 年 2 月 27 日に開催され、冒頭、森医学会長は次のように挨拶した！日本医学会は学問一途、研究・教育一筋というのが基本的な姿勢であると理解しているが、他方、世の中から隔絶した存在でもありえない。

たとえば医学用語は本来、どちらかといえば研究者、医師など専門家のみが用いるものと考えられていた。しかし最近では、文部科学省からの指導もあり、マスコミとか一般の社会人の要求も容れて、いわば国定版の医学用語集を日本医学会主導で出版してほしいという要望がある。

また訴訟問題に関連して、全く公正中立の立場にたった鑑定人とか証人を選ぶにあたり、日本医学会にその役目の重要な一部を担ってもらいたいと求められている。

認定医・専門医制度も、役所としては国民にわかりやすいものにしたいと望み、そのためには、日本医学会が中心になって、できるだけ明快、かつ標準化されたものにしてほしいといわれている。

これらもろもろのことを考えると、日本医学会の存在は、もはや社会一般と切り離すことはできず、それ相応の務めを世の中に対して果たさなくてはならないであろう。

## 第 26 回日本医学会総会

第 26 回日本医学会総会（会頭：杉岡洋一九

州大学総長、会期：2003 年 4 月 4 日～6 日、福岡）は、「人間科学 日本から世界へ 21 世紀を拓く医学と医療 信頼と豊かさを求めて」をメインテーマに、次のとおり準備を進めている。

学術プログラムは、以下の大項目を決定した。  
1. 脳と神経, 2. 心臓と血管, 3. 血液と免疫, 4. 癌, 5. 発生分化・生殖医療, 6. 高齢化社会と医療 加齢と老化, 7. ゲノム医科学, 8. 細胞内情報伝達・分子細胞医学, 9. 感染症, 10. 医薬と薬理と創薬, 11. 注目される病因・病態と疾患, 12. 検査と診断, 13. 治療の最前線, 14. プライマリ・ケア, 15. 緩和医療(Care を含める), 16. 再生医学・移植医療, 17. 精神医学, 18. ロボティクス, 遠隔医療, 19. ナノテクノロジーと医療, 20. 環境と健康, 21. 地域医療と保健行政, 22. 看護とチーム医療, 23. 社会保障と医療経済, 24. 生命倫理, 25. 歯学, 26. 国際医療協力, 27. 医学・医療と教育, 28. IT 時代の医療情報, 29. 遺伝子診断・遺伝子治療, 30. リスクマネージメント, 31. 医学史, 32. 人間科学, 33. アジア地域の医学と医療, 34. 獣医学と医学の接点, 35. 緊急テーマ。

展示は、テーマを「社会が育てる医学と医療」とし、専門家向けの「学術展示」と市民向けの「公開展示」を企画している。とくに公開展示では医薬工業界の主導による「人間を科学する」、「支え合う暮らし」、「共生の社会へ」をスローガンとして採択した。会期は、2003 年 3 月 29 日～4 月 7 日。

## 第 119 回日本医学会シンポジウム

平成 13 年 6 月 29 日(金) 10:00~17:00, 日本医師会館において「がん転移研究の新しい展開 分子研究から臨床へ」の課題でシンポジウムを開催する。組織委員は、今村正之(京大・腫瘍外科学), 成宮 周(京大・高次脳科学), 曾根三郎(徳島大・内科学)の 3 氏。参加希望者は、日本医学会に郵便はがきで申し込まれた(参加費無料)。

プログラムの概要は下記のとおり。

### I. 転移関連分子研究から創薬へ

1. 概説: 転移浸潤のメカニズムとそれに関わる分子群/廣橋説雄(国立がんセンター研)
2. 新しい MMP 制御因子 RECK のがん転移および血管新生における役割/野田 亮(京都大・分子腫瘍学)
3. 低分子量 G 蛋白質 Rho と転移・浸潤/成宮 周(京都大・高次脳科学)
4. 腫瘍血管新生とプロスタグランジン/馬嶋正隆(北里大・薬理学)

### II. 転移の生物学と実験動物モデル

5. 概説: がん転移モデルと臨床/曾根三郎(徳島大・内科学)
6. 肺がんの多臓器転移モデルと治療への応用/矢野聖二(徳島大・内科学)
7. 骨転移形成の分子機構/藤田直也(東京大・分子細胞生物学研)
8. 移植モデルを用いた大腸がんの悪性化機構と臨床/国安弘基(奈良医大がんセンター・腫瘍病理学)

### III. 臨床的研究の展開 病態把握と治療法改善

9. がん転移機構の臨床的研究/森 正樹(九州大・生体防御医学研)
10. がん微小転移の臨床的意義/嶋田 裕(京都大・腫瘍外科学)
11. Sentinel node navigationによるがん治療の個別化/北川雄光(慶應義塾大・外科学)

## 第 3 回日本医学会特別シンポジウム

第 3 回日本医学会特別シンポジウムは、廣重力北海道医療大学長を世話人として「医とゲノム 21 世紀のポストゲノム戦略」と題し、2001 年 9 月 6~7 日に、開催の予定である(会場: 札幌プリンスホテル国際館パミール)。

## 日本医学会の加盟申請

平成 13 年度の新規加盟申請に関する公示は、5 月 15 日に行い、7 月 31 日に締め切る。申請書は、日本医学会あて請求されたい。

## 医学賞・医学研究助成費

平成 13 年度医学賞・医学研究助成費の推薦依頼を 5 月上旬に行う。詳細は、本会に問い合わせられたい。

医学賞の要項は、1. 日本医師会会員で、医学上重要な業績をあげたものに授与する。2. 毎年 1 回、基礎医学・社会医学・臨床医学を通じ計 3 名に授与する(副賞は 1 名 500 万円)。

医学研究助成費の要項は、1. 日本医師会会員で、医学上将来性に富む研究を行っているものに授与する。2. 毎年 1 回、基礎医学・社会医学・臨床医学を通じ 15 件に授与する(1 件 150 万円)。

## 医学用語管理事業

この度、医学用語管理委員会が編集を行っていた「日本医学会医学用語辞典 英和」第 2 版が、1 月に刊行された。

今秋には、日本医学会との共編で、文部省「学術用語集 医学編」が出版される予定である。

## 情報発信

日本医学会のホームページを平成 12 年 10 月に開設した。各分科会の協力を得て、本会のホームページから分科会ホームページにリンクできることになっている。

本会のアドレスは、下記のとおりである。

<http://www.med.or.jp/jams/>